

施策番号	0703		
施策名	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）		
概要	多様化する要望にこたえて、スポーツ施設の柔軟な運営と良質なサービスの提供を行うほか、スポーツを支えるしくみづくりや、スポーツを支える組織の人材確保・育成を進める。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)	b	b	9,111	8,714	9,902	88.0%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					c	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※	
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数		
1	スポーツイベントや運動会，レクリエーションなどの活動を，スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	c	c	58	201	275	110	40	684	-	
				8. 5%	29. 4%	40. 2%	16. 1%	5. 8%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
市民生活実感調査総合評価		C	C								-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	C	令和元	C	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	☐ 客観指標	スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツイベントが中止になったこと等や京都マラソンのボランティアの減少等によりc評価になったと考えられる。

市民生活実感調査総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

・市民のボランティア参加に関する情報提供やPRが十分ではないこと、スポーツイベントや運動会などが多くのスタッフやボランティアに支えられる事実が周知されていないことなどからc評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・新しい生活スタイルに適応したスポーツ活動を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、スポーツの魅力やボランティアの意義を発信することにより、各種スポーツ関係団体や企業、大学、NPOなどと連携協力し、「支えるスポーツ」の更なる振興を目指す。

・次期「京都市市民スポーツ振興計画」を国の次期計画策定を見据え、令和3年度中に策定する。

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）				
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6－0 1 6 9		
1 指標の説明						
市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数						
2 指標の意味						
市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	9,111	8,714	397人減	9,902	平成23年度現況値（9,126人）と令和2年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出	88.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	10,000人以上	令和2年度	87.1%	多くの市民ボランティアが参加する京都マラソンを開始した平成23年度の現況値9,126人から約10%増の10,000人以上の参加を目標とする。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
b	b	c				